



めがねのまちさばえ

鯖江市

上下水道課

管理グループ TEL 0778-53-2241

上水工務グループ TEL 0778-53-2236

〒916-8666 福井県鯖江市西山町13番1号



鯖江市水道 事業ビジョン

概要版

どんなときも
いのちみず
鯖江の未来を支える生命水



令和元年10月



めがねのまちさばえ

鯖江市

1 策定の趣旨と位置づけ

本市は昭和33年度創設時から人口が増加しており、平成30年度末における給水人口は69,374人となっています。給水普及率は100%を達成し、市全域に安全な水をお届けしています。

一方、今後の給水人口は少子高齢化とともに減少に向かうものと予測されています。

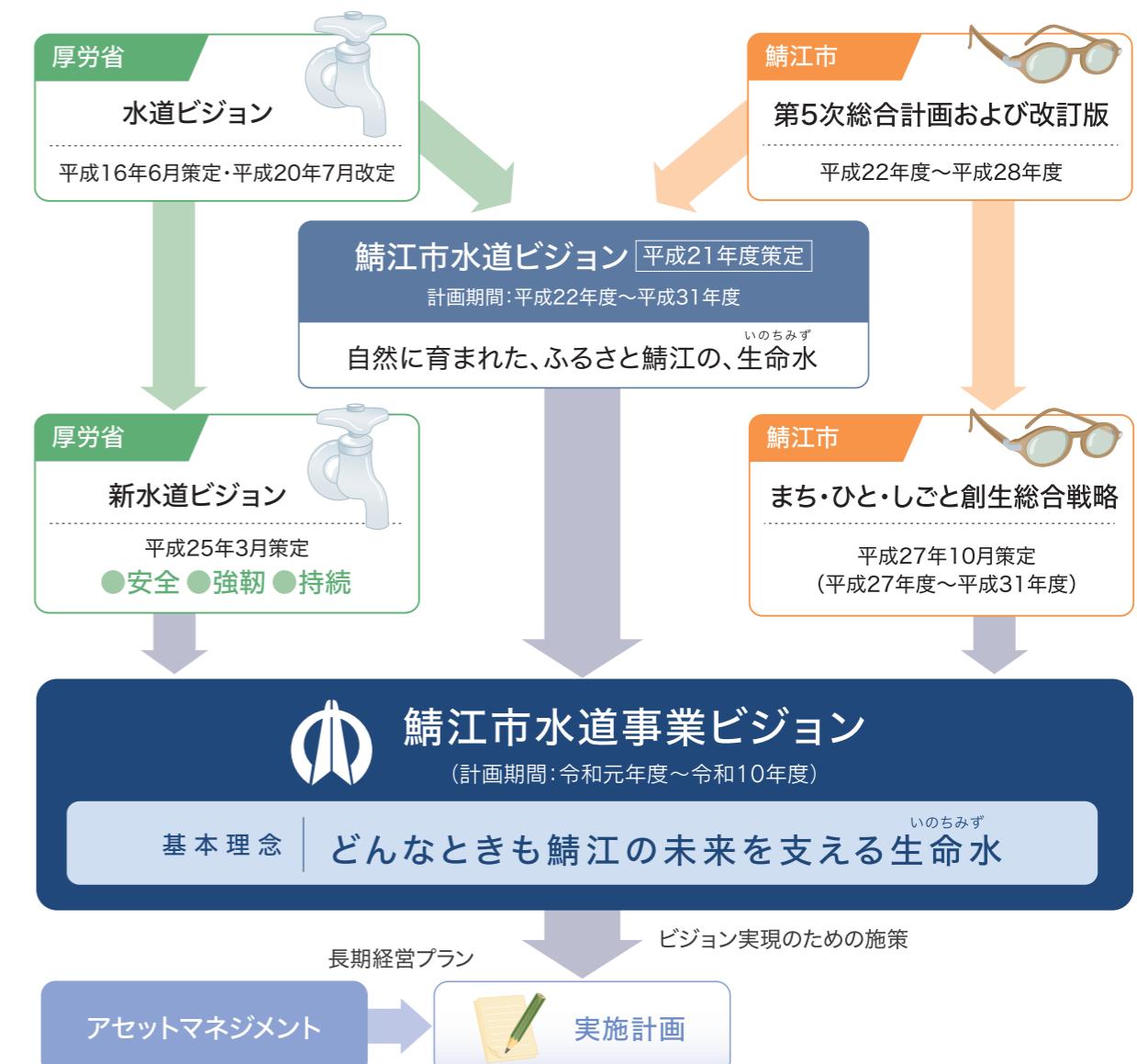
また、使用水量の減少や節水機器の普及など生活様式の変化に伴い、水需要も年々減少しています。水需要の減少は給水収益の減収につながることから、ますます厳しい経営環境になると考えられます。

本市では平成21年度の「鯖江市水道ビジョン」の策定から約10年が経過しており、見直しの時期を迎えました。

厚生労働省は平成25年3月に「安全」「強靭」「持続」を基本方針とした「新水道ビジョン」を公表しました。

また、平成27年度10月に本市が策定した「鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では「安全・安心でおいしい水の安定供給」を目標に掲げました。

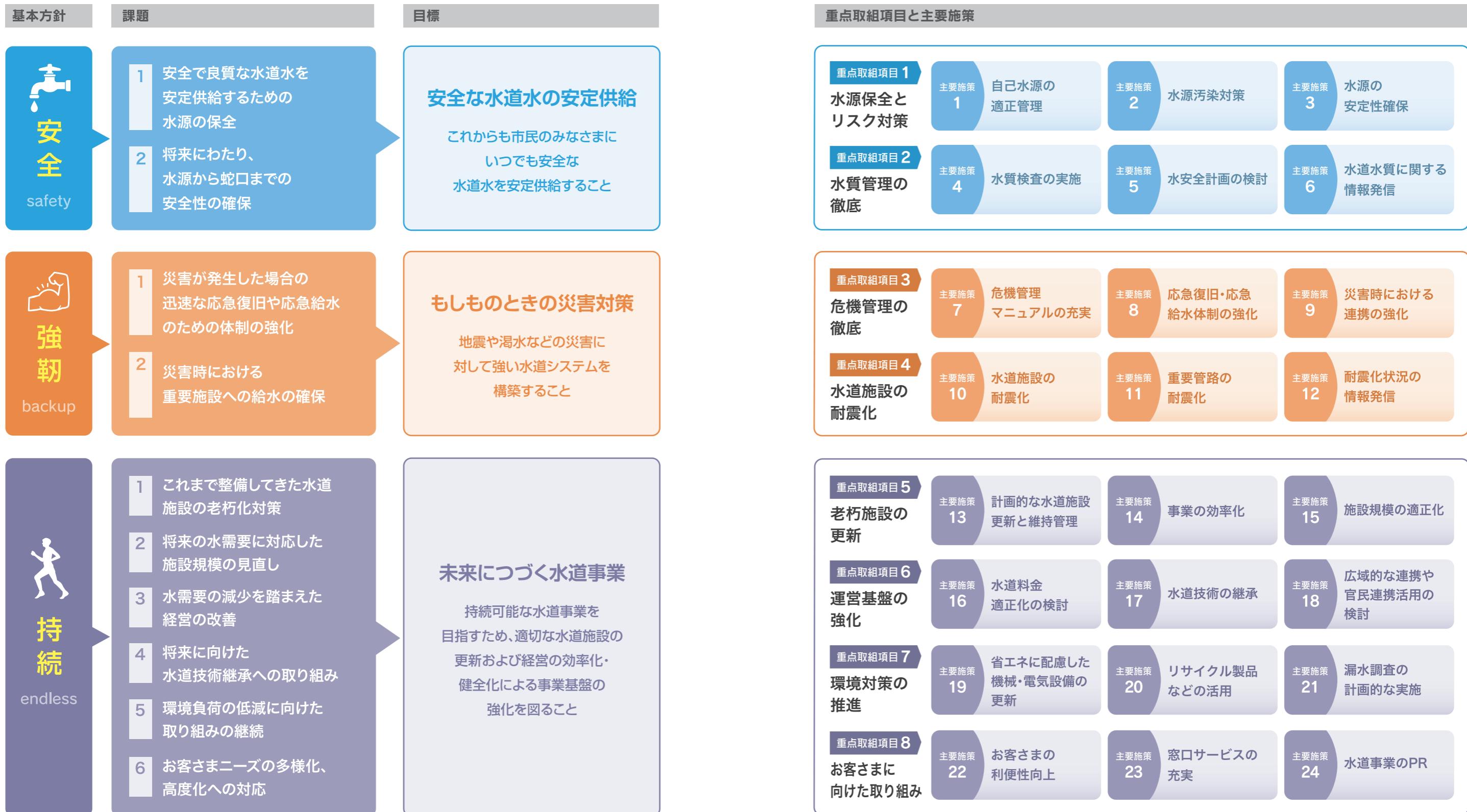
今年度、これらの上位計画に則して、「どんなときも鯖江の未来を支える生命水」を基本理念とした「鯖江市水道事業ビジョン」を新たに策定しました。



2 / 施策の体系

いのちみず
「どんなときも鯖江の未来を支える生命水」の基本理念のもと、理想像の実現に向けて、今後対処すべき課題を踏まえ、この10年間の重点取組項目を以下のとおり設定し、これらに沿って主要施策を進めていきます。

3つの目標「安全(safety)」「強靭(backup)」「持続(endless)」を基本方針とし、それに対する8つの重点取組項目と24の主要施策の実行により、市民のみなさまに満足していただける水道を目指します。



3 / 主要施策と指標

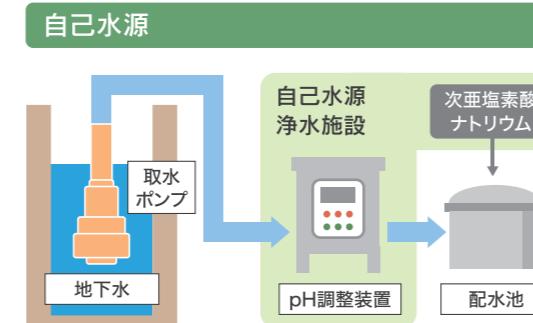
各主要施策とその基準となる指標を示します。

同規模団体(人口5万～10万人)の平均値を参考に10年後(令和10年度)の目標値を定め、主要施策を実行します。



主要施策 1 自己水源の適正管理

水需要に合わせた適正な取水による良好な水源の維持



主要施策 2 水源汚染対策

万が一の汚染に備えた地下水水質の常時監視

主要施策 3 水源の安定性確保

自己水源と受水による安定供給および地震・渴水時のリスク対策

指標	H29実績	R10目標	同規模団体平均(H28)
自己水源 水質事故件数(件)	0	0	0
自己保有水源率(%)	60.0	60.0	58.0



水源を守り、将来にわたって、より安心・安全な水を届ける



主要施策 4 水質検査の実施

水質検査の継続実施による安全な水道水の供給



主要施策 5 水安全計画の検討

水質にかかる通達や法規制などに応じた水安全計画策定の検討

主要施策 6 水道水質に関する情報発信

水質検査結果や水質に関する情報の随時発信

指標	H29実績	R10目標	同規模団体平均(H28)
平均残留塩素濃度(mg/L)	0.30	0.30	0.40
総トリハロメタン濃度 水質基準比率(%)	18.0	18.0	20.4



水質管理を徹底し、日々安心・安全な水を届ける



主要施策 7 危機管理マニュアルの充実

災害時に備えた危機管理マニュアルの随时見直し



主要施策 8 応急復旧・応急給水体制の強化

迅速な復旧を実現するための協力体制および応急給水資機材の計画的な備蓄

主要施策 9 災害時における連携の強化

定期的な防災訓練を通じて市民のみなさまと関係団体の連携強化



鯖江市給水車

いざという時に早期復旧を実現する



主要施策 10 水道施設の耐震化

地震発生時の被害軽減に向けた重要施設の耐震化



管路の耐震化

主要施策 11 重要管路の耐震化

避難所・病院など重要な施設へ配水する管路の耐震化

主要施策 12 耐震化状況の情報発信

ホームページでの耐震化情報の発信や出前講座などを通じた利用者の理解促進

指標	H29実績	R10目標	同規模団体平均(H28)
配水池の耐震化率(%)	95.2	97.7	55.9
重要管路の耐震化率(%)	39.5	52.8	20.2



地震や大規模災害に強い水道システムの構築

3 主要施策と指標



重点取組項目

5

老朽施設の更新

主要施策13 計画的な水道施設更新と維持管理

老朽化した管路や重要な管路の計画的な更新および施設の早期補修・修繕の実施



主要施策14 事業の効率化

計画的な設備投資と発注方式の検討などによる経費の削減と事業の効率化

主要施策15 施設規模の適正化

施設の統廃合や管路のダウンサイ징による施設規模の適正化および更新投資額の削減

指 標	H29実績	R10目標	同規模団体平均 (H28)
管路の更新率(%)	4.6	6.2	—
老朽施設の適正化(箇所)	0	4	—

断水のない快適な水道水の使用

主要施策16 水道料金適正化の検討

安定経営のための経営改善および水道料金適正化の検討



主要施策17 水道技術の継承

若手技術者への教育訓練および職員間の情報共有による水道技術の継承

主要施策18 広域的な連携や官民連携活用の検討

運営基盤強化のため、広域化や官民連携などの多様な形態の検討

指 標	H29実績	R10目標	同規模団体平均 (H28)
総収支比率(%)	86.0	100.0	114.7
営業収支比率(%)	85.8	99.2	105.8
料金回収率(%)	78.1	93.8	107.5

将来にわたり、可能な限り低廉な水道水の供給



重点取組項目

7

環境対策の推進

主要施策19 省エネに配慮した機械・電気設備の更新

施設の統廃合や省エネ機器導入による電力使用量の削減



主要施策20 リサイクル製品などの活用

建設副産物の再利用やリサイクル製品の積極的な使用

主要施策21 漏水調査の計画的な実施

計画的な漏水調査による漏水箇所の早期修繕

指 標	H29実績	R10目標	同規模団体平均 (H28)
配水量1m ³ 当たり電力消費量 (kWh/m ³)	0.23	0.20	0.45
漏水率(%)	5.9	5.0	5.1

地球環境への配慮により水道事業者の責務を果たす



重点取組項目

8

お客さまに向けた取り組み

主要施策22 お客さまの利便性向上

IOTの利用やキャッシュレス社会を見据えた利便性の向上



主要施策23 窓口サービスの充実

きめ細やかなサービスの継続と向上

主要施策24 水道事業の PR

情報提供や学習活動による水道事業への理解を深める活動の推進

鯖江市ホームページアドレス <https://www.city.sabae.fukui.jp/>

上下水道のページ

https://www.city.sabae.fukui.jp/kurashi_tetsuduki/jogesuido/index.html

指 標	H29実績	R10目標	同規模団体平均 (H28)
水道サービスによる苦情対応割合(件/1000件)	1.1	1.0	—

市民のみなさまの理解と信頼を得る

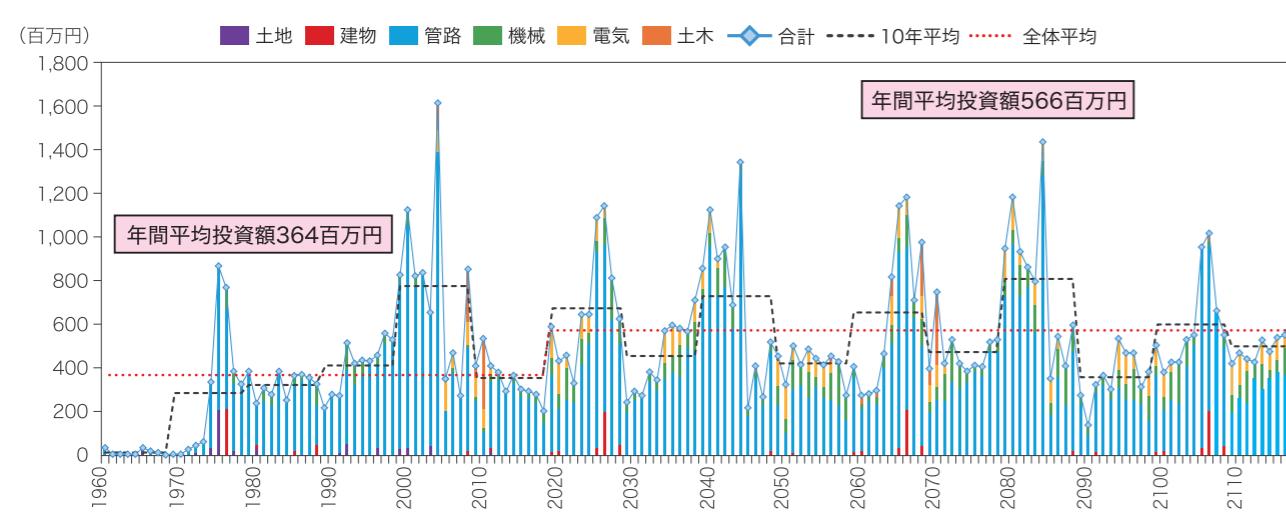
4 財政収支の見通し

◆更新需要の見込み

水道施設は整備した時期や水道施設のモノ(管路、構造物、機械設備)によってそれぞれ更新時期が異なります。それらを整理して、将来必要な投資額とその時期を算定しました。

法定耐用年数で更新した場合、現在の投資額の年間平均は364百万円で、将来の建設投資額は同566百万円となり、約1.6倍となります。

今後増加する更新需要に対して水道施設を健全な状態で維持するためには、水需要の減少を踏まえた施設規模の適正化(ダウンサイジング)を図ったうえで必要な財源を確保し、更新を行っていく必要があります。



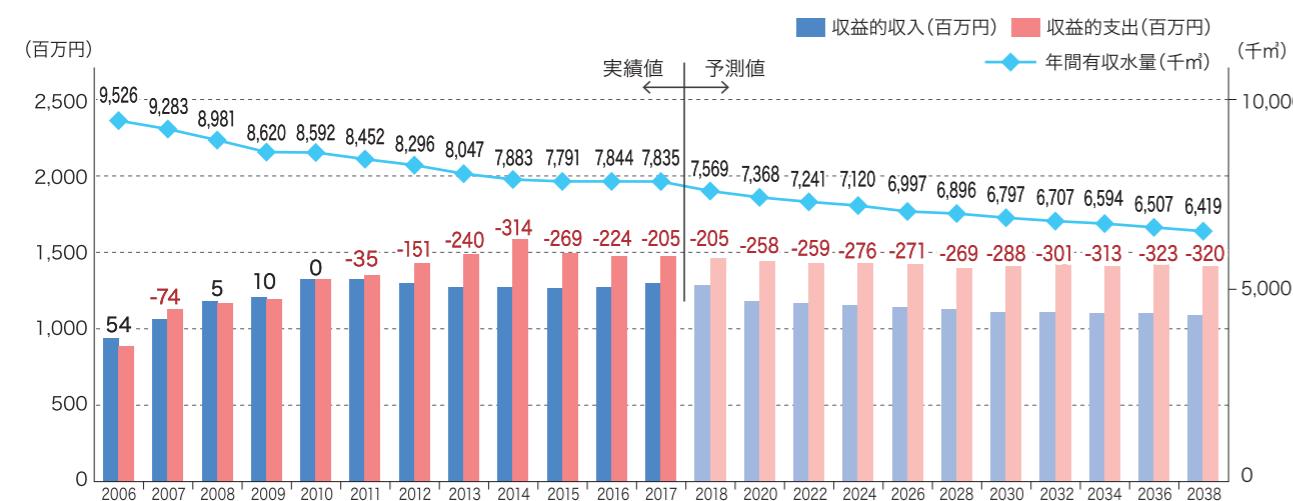
◆財政収支の見通し

1年間の営業活動に関する収支である収益的収支について、過去10年間の実績値と今後20年間の予測値を表します。

2006年度(平成18年度)に県水受水を開始し、翌年7,400万円の赤字となりましたが、その年の料金改定により、一旦黒字に回復しました。

しかし、有収水量の減少により、2011年度(平成23年度)以降は損失が続き、2017年度(平成29年度)には約2億円の赤字となっています。

今後20年間で有収水量は現状の8割まで減少し、2038年度(令和20年度)には約3.2億円の赤字が見込まれることから、ますます厳しい経営状況となる見通しです。



5 フォローアップ計画

今後、事業計画に基づき取り組みを実施していくうえで、目標達成のためには施策の進捗状況とその評価が必要です。

この施策を確実に実施していくために、Plan(計画)・Do(実行)・Check(点検・評価)・Action(改善)のサイクルに基づいたフォローアップを行い、事業の進捗状況を管理します。

また、5年ごとに目標の達成度などを評価し、今後の事業の推進や計画の見直しにつなげるとともに、結果をホームページで公表し、お客さまからのご意見を取り組みに反映していきます。

●PDCAサイクルのイメージ



PDCAサイクルとは

Plan(計画)

従来の実績や将来の予測などをもとに事業計画を策定する。

Do(実行)

計画に沿って事業を実施する。

Check(点検・評価)

計画に沿っているかを定期的に確認する。

Action(改善)

計画に沿っていない場合は改善処理を行う。

目指す方向性

安全

強靭

持続



施策



事業・取り組み



5年ごと
前期(R05)、後期(R10)